

# 令和元年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

## 行方市 解答と解説

組	番	氏名
---	---	----

番号	解 説	答
1	2013年(平成25年)3月に誕生した、行方市のマスコットキャラクターの名前はなめりーミコットです。「なめがた」とゆりの「リリー」で「なめりー」、古代の高貴な人々のイメージで「尊」からミコット。古代の服装とユリの花の帽子をかぶり、首にかけた勾玉はサツマイモ、前髪は行方の頭文字「N」を表現しています。	4
2	2019年(令和元年)に行われた国民体育大会(いきいき茨城ゆめ国体2019)で行方市は、デモンストレーション競技の「ビーチハンドボール」と公開競技の「ゲートボール」の実施会場となりました。	1
3	気軽に楽しむ金魚すくいを競技化したもので、制限時間3分間で何匹の金魚がすくえるかを競います。成績上位者になると、時間内に50匹以上の金魚をすくいます。	3
4	行方市には、日本武尊(やまとたけるのみこと)の伝説の場所が多く残っています。日本武尊は、現原(あらはら)の丘で輿(こし:人に乗せ人力で持ち上げて運ぶ乗り物)を停めて、付近を散策して辺りを見渡し、海も山も陸もその並び方が絶妙で「行細(なめくはし)」と名づけたとされています。	4
5	2019年(令和元年)5月1日時点で、行方市には100歳以上の方が26人在住しています。	2
6	大場家(おおばけ)住宅は、大場家第三代清左衛門正治(せいざえもんまさはる)の時に初代水戸藩主・徳川頼房(とくがわ よりふさ)の領内巡視の際の宿泊所として、また水戸藩南部の藩政事務所として建てられました。2004年(平成16年)から2008年(平成20年)にかけて5か年計画により大規模な解体修理が行われ、幕末期の大山守(おおやまもり)大場家郷土屋敷に還元されました。	1
7	霞ヶ浦ふれあいランドのシンボルタワーは虹の塔です。高さ60メートルの展望台に上がれば、360度のパノラマが広がります。霞ヶ浦を一望でき、その向こうに筑波山が見えます。時には、富士山まで望むことができます。	2
8	額賀 滯(ぬかが みお)は、行方市出身の作家で、2015年(平成27年)に第22回松本清張賞・第16回小学館文庫小説賞を受賞しています。「タスキメシ」は、2015年(平成27年)に刊行し、第62回青少年読書感想文全国コンクール高等学校部門課題図書にもなりました。	2
9	行方市の市章は、行方市の「N」と帆引き船をモチーフとしています。3つの帆は、麻生町・北浦町・玉造町を表しています。それぞれの色は、赤「ふりそそぐ太陽」、青「霞ヶ浦・北浦」、黄緑「豊かな自然」をイメージしています。行方市の発展と飛躍を表現しています。	3
10	三味塚古墳(さんまいづかこふん)は、霞ヶ浦沿岸の沖積地にある前方後円墳で全長85メートル、後円部径47メートル、前方部幅36.5メートル、後円部高さ8メートル、前方部高さ6メートル規模の古墳です。この古墳の成立は、5世紀後半と考えられています。	1
11	行方市の面積は、約220平方キロメートル(正確には222.48平方キロメートル)あり、茨城県で7番目の大きさの面積です。	4
12	アサザは池や沼に生え、漢方薬にも使われる薬草植物でもあり、水質浄化にも一役かっけていっています。8月から10月頃が見頃となります。	2
13	千年以上にわたり、自然的・社会的な災害・変化を乗り越えて、生産と生活が持続的に営まれてきた集落や地域が認定される千年村プロジェクトに、2017年(平成29年)行方市の麻生地区が第1号の認証を受けました。	3
14	行方市は、鉾田市・潮来市・鹿嶋市・かすみがうら市・小美玉市の5市町村と道路でつながっています。稲敷市は霞ヶ浦上の境界で接していますが、道路ではつながっていません。	2
15	行方市の花に制定されている花はヤマユリです。甘く強い香りを放ち、行方市内に自生していますが、中でも西蓮寺の「井上山百合の里」は、関東随一の山百合の自生地として有名です。	1
16	奥村吉郎兵衛(おくむら きちろうべえ)は、東京で佃煮(つくだに)の需要が多いことを知ると、捨てられることの多かったハゼなどの小魚を使用し、佃煮を製造することを考えました。製法を研究し、苦労の末に販売することに成功しました。	4
17	西蓮寺の「井上山百合の里」は、関東随一の山百合の自生地として有名です。山百合の甘い香りと、里山の新鮮な息吹を満喫しながら散策が楽しめます。	4
18	行方市の天王崎(てんのうざき)に位置する八坂神社では、毎年7月の最終土曜日に「馬出し祭り」という祭典が行われます。初日の宵祭りでは、神輿を先頭に稚児(ちご)や神職(しんしよく)が行列をなして地区内を練り歩き、二日目の本祭りでは、八坂神社内で八岐(やまた)の大蛇に見立てた飾り馬(ヤマタノオロチ)と祭神を奉じた神輿(スサノオ)とがもみあう勇ましい戦いを繰り広げ、白装束の人々が神輿を霞ヶ浦湖中にかつぎいれる「お浜下り」も行われます。	2
19	2019年(平成31年)4月に開始された「サイクリングwith INGRESSで行方の文化財を巡る」のAコースは、総距離で52キロメートルあります。全て訪れるとINGRESSメダルや抽選で行方市の特産品をもらうことができます。	3
20	2019年(平成31年)3月24日に、「第1回 茨城100K(キロ)ウルトラマラソンin鹿行(ROKKO)」が実施されました。走るコースは、日本一フラットな100キロメートルのコースです。行方市北浦公民館をスタートし、北浦の西側を南下して神栖市の息栖(いきす)神社で折り返し、北浦東側を北上して北浦大橋を渡って、ゴールの北浦公民館まで走るコースになっています。	1
21	2009年(平成21年)1月から販売が開始された行方バーガーは、鯉を使用した「鯉パッケン」、ナマズを使用した「なめパッケン」、鴨を使用した「鴨パッケン」、豚を使用した「豚パッケン」の4種類です。白魚を使用したバーガーは、販売されていません。	4
22	天王崎(てんのうざき)観光交流センター「コテラス」の「コ」は湖(霞ヶ浦)をあらわし、「テラス」は天王崎が夕日の名所であるため、湖を照らす夕日が輝くがごとく、この場所で多くの人々が出会い感動を共有していただきたいとの願いがこめられつけられました。	2
23	行方市内の小中学校は、平成24年度から平成28年度にかけての統廃合によって、小中学校合わせて21校あった学校が、統合後現在の7校になりました。	3
24	らぼっぼ なめがたファーマーズビレッジのキャラクター「焼き右衛門」は、焼き芋の妖精で年齢は400歳。キャラクターの声を行方市出身で女優の永作博美(ながさくひろみ)さんが、担当しています。	4
25	芹澤 鴨(せりざわ かも:別名 下村嗣司)は、幕末の水戸藩士で、新撰組の初代筆頭局長でした。芹澤 鴨の父は、常陸国行方郡玉造村芹澤が郷土です。	3